

## プレ企画 映画「隠された爪痕」「払い下げられた朝鮮人」の感想まとめ

※（ ）内、年代、住まい、何で知ったのか。2023年7月2日（日）

- 1、日本人は時代の空気に流されやすいと思い、自分で考え、行動することの大切さを痛感します。  
（80代、横浜市内、チラシ）
- 2、関東大震災時の朝鮮人虐殺について、まだまだ知らないことがあることを痛感しました。そして現代の日本社会で、この問題を再認識して深く掘り下げることが必要だと感じました。監督のお話を聞き、自分も勉強をし直してみようと思いました。（60代、横浜市内、友人）
- 3、貴重な証言活動に感銘を受けました。歴史修正主義（否定主義）の根深さを感じます。  
（80代以上、横浜市内、メール）
- 4、関東大震災時の朝鮮人虐殺は知っているつもりでしたが、特に「払い下げられた朝鮮人」において千葉県の地域で、地区ごとに地区の住民が朝鮮人を殺していたことを初めて知りました。自警団の虐殺。殺したのに、大した罪にならなかったこと？記録、名簿も大して残っていないこと。この映画を見て、余計東京都の小池知事の言動は許せません。ヘイトにつながるのとこと納得。  
（70代、横浜市内、Web・友人）
- 5、関東大震災の時に朝鮮\*が殺されたという話は知っていたが、これほど映像で詳細に観る機会は無かったので、改めて事実には驚き、今に続く朝鮮（韓国）の方々への偏見、差別の根深さに心が痛んだ。やはり、事実を知り、過去に学び 現在、未来に生かすことが大事だと思った。このような機会を与えてくださった会の皆様にお礼を申し上げます。  
監督のお話は、映画では描ききれなかった想いを少しでも知る機会となりました。新しい映画を制作されているとのこと。出来上がるのを楽しみ（こんな言葉はダメですね）にしています。ありがとうございました。（70代、不明、チラシ）
- 6、呉監督のお話を聞くことができ、とても心に響きました。DVD全部見たかった。  
（70代、横浜市内、フェミン）
- 7、歴史修正から歴史否定に行き着いた社会はまた再び虐殺へと向かう。映画と呉監督の話から深く感じられた。  
私は若年の時から反戦闘争に取り組んだが、今の政府と日本社会の動向はまた再び戦争へと向かう色が濃い。私は高齢ではあるが、自分ができること、戦争阻止へ向けてできることについて考え行動していこうと思う。（70代、横浜市内、チラシ）
- 8、朝鮮人を虐殺をしたのは日本人の恥。虐殺したのが、第一の殺人。これを隠蔽した当時の政府、軍、警察の行為は第2の殺人。現在、小池だけでなく、政府が虐殺を認めないのは、第3の殺人。今の政府の発言・対応を座視している一般の日本人の罪も重い。流言により、殺害した自警団、一般日本人の心理と通底しているのではないか？（不明）
- 9、貧困が差別を生み、差別が虐殺を招いていると感じた。負の遺産は、正しく継承しなければ、誤ちは繰り返されていくだろう。現東京都知事、自民党、公明党、維新の会などは、都合の悪い負の遺産をなかったことにして、教科書から削り、継承を拒んでいる。子どもたちは誤った歴史観を持ち、日本はますます誤った方向へ進んでいく。いじめも差別も根は同じ。きちんと向き合うことをしなければ改善はなく、繰り返されていく。  
しかし、都合が悪いことは聞こえないふりをして、なかったことにして済ませたがる人が世の中に多く、良い方向へは行かない。残念だ。習志野のことは全く知らなかった。機会を作って、隣の人にも伝えたいと思った。（60代、市外、チラシ）
- 10、監督は「韓国政府は1923年以降虐殺問題を追及していない」と答えました。何故なのか？調査したい。（70代、市外、チラシ）
- 11、呉監督の地道で長期間の執念に近い思いが詰まっている作品と感じました。  
日本人として忘れてはならない！と反省させられる面もありました。特に近年の保守的な傾向は、若い人に特に見られる様になり危惧しています。（不明）